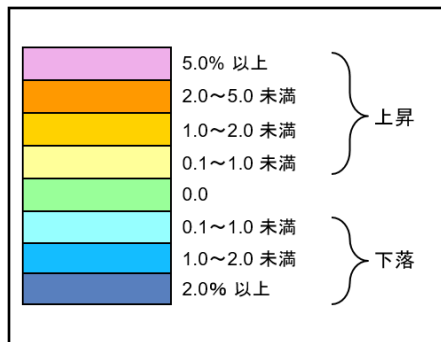


名古屋圏の商業地

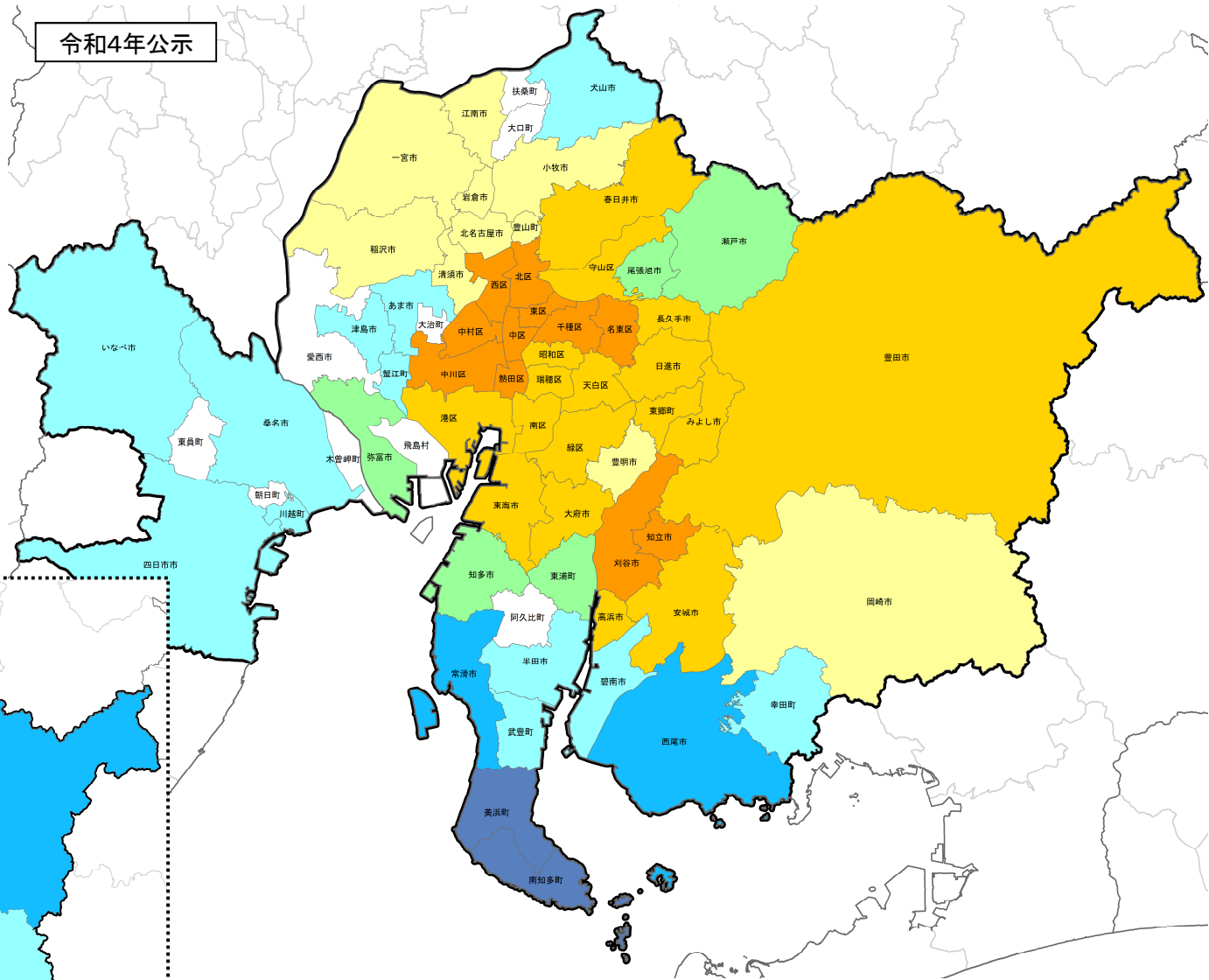
※（ ）は前年変動率

愛 知 県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名古屋市では、3.2%上昇(2.1%下落)。全 16 区全てで下落から上昇となった。 ・ 中心商業地では需要は底堅く、また金融緩和の影響から投資市場は堅調で、中区で 4.4%上昇(2.8%下落)となった。 ・ 東区等の市中心周辺区では、居住用物件に対する投資需要が強まっており、これまで高度商業地に投資されていた資金の一部が流入することにより、地価が上昇している。 ○ 西三河地域では、駅至近でマンション需要も見込める商業地については需要が高く、上昇している市町も見られるが、その他の商業地については全体的に弱含みとなっている。 ○ 知多南部地域では、湾岸エリアを中心に下落傾向が継続している。
三 重 県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四日市市では、0.1%下落(0.5%下落)。近鉄四日市駅前の高い集客力、収益性を内包するエリアへの需要は戻りつつあり、下落率は縮小した。 ○ その他の市町でも下落率は縮小した。

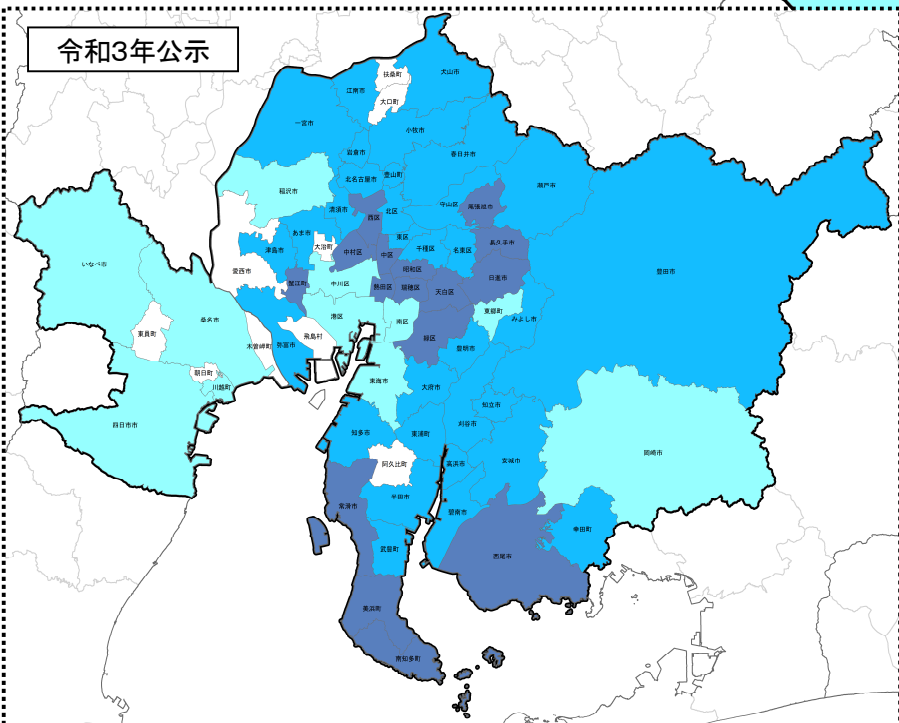
市区町村別の状況（名古屋圏・商業地）



令和4年公示



令和3年公示



※圏域内の白色部分は、継続地点が設置されていない市区町村である。